

## 第32回 マルちゃん杯関東少年柔道大会 要項

1. 目的 柔道の試合を通じて心身を鍛錬するとともに、その技能を磨き、将来を担う関東地区の少年相互の親睦を図り、明るく、正しい、そして、たくましい少年の健全育成を目的とする。
2. 主催 公益財団法人東京都柔道連盟、東洋水産株式会社
3. 主管 公益財団法人東京都柔道連盟
4. 後援 公益財団法人全日本柔道連盟、東京都教育委員会、  
(予定) 公益財団法人東京都体育協会、関東柔道連合会、東京都中学校体育連盟、ベースボール・マガジン社「近代柔道」、サミット株式会社
5. 日時 令和4年6月26日(日)  
小学生の部 開会式：9時15分  
中学生男子の部・中学生女子の部 開会式：13時15分(予定)  
審判会議 8時15分～ 2階 大研修室  
監督会議 小学生の部：8時45分～ / 中学生の部(男女共通)：12時45分～(予定)  
2階 大研修室  
\*開始時間等については、申込数により変動の可能性あり
6. 会場 東京武道館 住所：東京都足立区綾瀬3-20-1  
電話：03(5697)2111  
交通：東京メトロ千代田線 綾瀬駅東口 徒歩5分
7. 参加資格 (1)対象は小学生(3年生以上)・中学生とし、現に各加盟団体の小・中学校に在学している者であって、「学校」「柔道場」「クラブ」「スポーツ少年団」等の単位とする。  
(但し、実態が同一である団体は名前が異なっても1チームのみの出場とする。)  
(2)選手本人の出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い、保護者並びに団体の承諾を得ること。  
(3)出場チームは、指導者が必ず監督として引率すること。  
勝敗にこだわり、選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為があった場合はそのチームを失格とし、今後の本大会の出場を認めない。  
(4)監督・チームとも該当年度全日本柔道連盟に登録済みであること。  
出場する選手は、申込みチームを通して登録をしていること。  
(未登録の場合は出場できないので、速やかに所属連盟に登録手続きを行うこと。)  
監督は全柔連公認指導者資格(C指導員以上)もしくは【学校顧問特例資格】(中学生の部のみ適用)を有していること。  
\*学校顧問特定資格は、必ず所属都県柔道連盟に申請し認定されていること。  
(当日、認定証を持参)  
\*資格について虚偽が判明した場合は、出場停止または指導者資格の停止も含め厳重に対応します。  
(5)監督の兼任は認めない。小学生の部・中学生男子の部・中学生女子の部、いずれかの監督としてしかエントリー出来ない。また、当日監督不在のチームは出場することができない。  
(6)新型コロナウイルス感染症対応について  
本大会では新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため下記の通り対応する。  
①大会は無観客で実施する。監督が引率出来ないチームは参加できない。  
\*会場周辺には待機スペースがなく、大勢が集合すると近隣へも迷惑がかかるため、監督の引率のみで参加することが難しいチームは本年度の参加を見合わせて下さい。  
②選手・監督及び大会関係者全員に健康記録表(大会7日前から実施)を義務づける。  
③大会当日受付にて検温を実施する。  
④選手は試合時のみマスクを外すことができるが、その他関係者は常時マスク着用のこと。  
⑤感染者・濃厚接触者が確認された場合は速やかに大会事務局に報告すること。

※上記項目にご協力いただけない方は本大会に参加できないものとする。

また、提出された書類は個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き本人の同意を得ずに第三者に提供しない。但し、大会会場にて感染者またはその疑いのある方が発見された場合は、必要な範囲で保健所等に提供することがある。

(7) 脳震盪対応について

選手および指導者は下記事項を遵守すること。

- ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場許可を得ること。
- ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し書面により事故報告書を提出すること。

(8) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。

もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

8. 審判規定

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」で行なう。
- (2) 試合時間は、各部ともに1回戦～準々決勝戦まで2分とし、準決勝戦・決勝戦は3分とする。代表戦についても、それぞれ2分及び3分とする。
- (3) 勝敗の決定基準は「一本」<sup>※1</sup>「技あり」「僅差」<sup>※2</sup>とし、得点差が無くかつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。但し、代表戦の場合は、旗判定で必ず勝敗を決する。  
(GSは行わない。)

※1「技あり」2つで「合せて一本」とする。

※2「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

9. 試合方法

- (1) 団体試合とし、小学生の部、中学生男子の部及び中学生女子の部の3部制とする。
- (2) チーム編成は、小学生の部および中学生男子の部は監督1名・選手5名の計6名、中学生女子の部：監督1名・選手3名の計4名とし、今大会に限り補欠はおかない。  
選手の配列は、段・級及び学年は自由とするが、負傷・事故防止のため、体重の重い順に大将から配列するものとする。また、欠員が生じる場合は最も軽い位置を欠員とする。  
また、小学生の部は男女の混合を認めるが、中学生の部においては男女の混合は認めない。

(3) 試合は、小学生の部及び中学生男子の部は5人制、中学生女子の部は3人制の点取り試合とし、トーナメント戦により実施する。

(4) トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

ア. 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

イ. アで同等の場合は、「一本」(それと同様の勝ちを含む)による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

ウ. イで同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

エ. ウで同等の場合は、代表戦を1回行い、必ず勝敗を決する。

出場する選手は「引分け」であった対戦の中から1試合を抽選で選出する。

10. 表彰

- (1) 上位各8チーム(中学生女子の部は4チーム)までの入賞チームに、東京都柔道連盟及び東洋水産株式会社から賞状(第3位まで)及び賞品を授与する。
- (2) 入賞チームの中から最優秀選手を選考し、各部1名にフレッド・ワダ杯を授与する。
- (3) 入賞チームの中から優秀選手を選考し、各部8名(中学生女子の部は3名)に優秀選手賞を授与する。

#### 11. マルちゃん杯全日本少年柔道大会への出場について

小学生の部上位8チーム、中学生男子の部上位12チーム及び中学生女子の部上位4チームは、令和4年9月18日（日）東京武道館で開催される2022年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会への出場権を得る。なお、全日本大会に出場する選手は今大会のプログラムメンバーに限る。

#### 12. 申込方法

(1) 申込期間 令和4年5月11日（水）～ 令和4年5月29日（日）

(2) 申込方法 都柔連ホームページより申込み用紙をダウンロードし、必要事項を入力の上、下記メールに添付し申込むこと。

申込みアドレス：moshikomi@tojuren.or.jp

件名：マルちゃん杯関東大会申込み（団体名）

\* 申込書はPDF等にせず、Excelデータのまま送付のこと。

\* 都柔連より申込み完了メールおよび大会前に注意事項を送信します。

迷惑メールの対策などでドメイン指定を行っている場合、メールが受信できないことがありますので、「@tojuren.or.jp」を受信設定してください。

(3) 申込に関する問い合わせ先 公益財団法人東京都柔道連盟

メール：tojuren@tojuren.or.jp / TEL：03-3818-5639 または 080-3487-8054

#### 13. 選手変更

(1) 申込み後の選手変更は原則として認めない。

(2) 負傷等で止むを得ず選手変更を希望する場合は、下記期日までに変更手続きを行うこと。  
変更期間 6月16日（木）17時まで

変更方法 新たな選手を含め体重の重い順に再編成し、都柔連ホームページ内の選手変更用紙に入力の上、moshikomi@tojuren.or.jpに送信のこと。

選手の体重の増減によりオーダーに変更がある場合も届け出ること。

(3) 大会当日、欠場者が出た場合は受付時に申し出ること。選手の補充・変更は認めない。  
この場合、最も軽い位置を欠員とする。

(4) 試合中に負傷者が出た場合は、最も軽い位置を欠員とする。

(5) 負傷等により変更になった選手は、以後の試合に出場出来ない。

#### 14. 組み合わせ

令和4年6月1日（水）都柔連事務局において、東京都柔道連盟及び東洋水産株式会社の立会いのもと実施する。

#### 15. 参加費

無料

#### 16. 傷害保険

(1) 主催者は、参加者全員の傷害保険に加入し費用を負担する。

(2) 参加者は健康保険証を必ず持参すること。

(3) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置は施すが、それ以外の責任は負わない。  
※万一の事故の発生に備え、各チーム独自で傷害保険等に加入するなどして万全の事故対策を立てておくこと。

#### 17. その他

(1) 個人情報、肖像権の取り扱いについて

下記項目について、申込書の提出をもって了承されたものとし取扱い致します。

参加申込書に記載された個人情報・競技結果・大会中に撮影された写真または動画等の映像が、大会プログラム・競技会場内外の掲示板等・大会ホームページ・都柔連Facebookに掲載される場合があります。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります。

大会時に撮影する映像を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合があります。

(2) 選手の宿舎及び大会当日の昼食は各自で用意すること。

(3) 宿舎の幹旋は行わない。

(4) 出場者全員に東洋水産株式会社の参加賞を授与する。

#### 18. 柔道衣

原則として柔道衣の袖・裾の折込みは禁止とする。ただし、成長期を考慮し、今大会に限り5cm・一折りまでの折込み可。また、前合わせについては十分な重なりがあること。

認証柔道衣の使用は義務付けない。

## 19. ゼッケン

図1. ゼッケンの縫付方

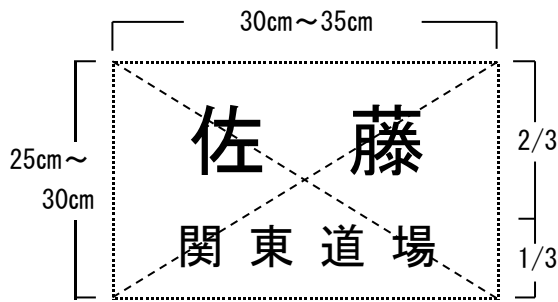
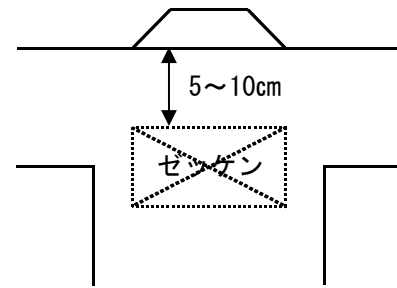


図2. ゼッケンの縫付位置



- (1) 柔道衣に**申込書記載チーム名のゼッケン**を縫い付けること。  
付けていない選手は出場出来ない。
- (2) チームに2名以上同じ名字（姓）の場合は、名前の一字以上を加える。
- (3) ----- の部分を縫い付ける。
- (4) 図2. の位置に強い糸で縫い付ける。（対角線にも）
- (5) 名字（姓）は上側2/3、出場するチーム名は下側1/3。
- (6) サイズは概ね横30cm～35cm、縦25cm～30cm。
- (7) 布地は白色(晒・太綾)とし、書体は太いゴシック体または明朝体(楷書)で、男子は黒文字、女子は赤文字とする。